第9号 穂肥編

庄内総合支庁 農業技術普及課 Tel. 0235-64-2103

中干しを徹底して根の活力を増強! 高温予想で出穂やや早い見込み。穂肥は遅れず適量を!

●表 1 生育状況(6月25日現在)

品種	場所	年次	移植	6/20土壌中残存 アンモニア態 窒素 (mg/100g)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)
せえぬき 移植	鶴岡市 矢馳	本 年	5月18日	4. 9	42. 2	565	9. 1	43. 9
		平年	5月16日	5. 3	40. 1	576	9.0	39. 7
		平年比・差	+2	-0. 4	105	98	0. 1	4. 2
つや姫 移植	鶴岡市 上清水	本 年	5月13日	3. 2	49.9	491	9.0	42. 7
		平年	5月12日	3.8	42.8	508	8.9	40. 7
		平年比・差	+1	-0.6	116	97	0. 1	2. 0
雪若丸 移植	鶴岡市 長沼	本 年	5月10日	2. 3	42. 1	584	9.4	46. 4
		平年	5月12日	4. 9	37.8	650	9. 2	45. 2
		平年比・差	-2	-2. 6	111	90	0. 2	1. 2

※平年:2020~2024年の5か年平均

●表2「スマートつや姫」適期作業カレンダーによる穂肥適期及び出穂期の予測

4女+古吐 #0	穂肥適期(月/日)			予測出穂期(月/日)			
移植時期	はえぬき	雪若丸	つや姫	はえぬき	雪若丸	つや姫	
5月 5日	7/5	7/7	7/7 ~ 12	7/30	8/1	8/6	
5月10日	7/7	7/8	7/8 ~ 13	8/1	8/2	8/7	
5月15日	7/8	7/10	7/9 ~ 14	8/2	8/4	8/8	
5月20日	7/11	7/13	7/12 ~ 17	8/5	8/7	8/11	

※モデルは庄内平坦(鶴岡市藤島) 移植時苗の葉数は2.3葉

●品種ごとの穂肥診断の方法

- 1. はえぬき
 - 出穂 25 日前 (今年は 7/5~10 頃)、窒素成分 1.5~2.0kg/10a を基本とする。
 - 10.4 **葉期(今年は7/3~5頃)**に診断を行い、穂肥の量と時期を決定(図1)。
 - 茎数 700 本/㎡以上、又は葉色 (SPAD 値) 40 以上のいずれかの場合は、穂肥量 を窒素成分 1.0kg/10a に減らし、両方に該当している場合は、**穂肥を行わない**。

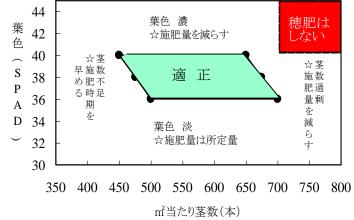


図 1 はえぬきの 7/3~5 頃の茎数・葉色による 診断と穂肥対応(R7 の出穂期を想定)

表3 茎数•葉色早見表

m³当たり	株当たり茎数(本)			
茎数 (本)	60 株植/坪	70 株植/坪		
700本/m²	38	33		
450 本/m²	25	21		

葉色(SPAD)	葉色(葉色板)
40.0	5. 0
36. 0	4. 6

2. つや姫

- 穂肥は出穂 30 日前(今年 7/7~10 頃)が基本。
- 7/7頃に生育診断を行い、生育に合わせて穂肥 を実施!(図2)。
- ① 茎数 600 本/㎡以下かつ葉色 39 以下 ⇒出穂 30 日前に**窒素成分 1.5kg/10**a を施用
- ② 茎数 600~650 本/㎡、又は、葉色 39~41 **⇒窒素成分 1.0kg/10a 以下**に減肥
- ③ 茎数 650 本/㎡以上、又は、葉色 41 以上
 ⇒出穂前 25 日頃まで葉色が低下したら、
 窒素成分 1. 0kg/10a 以下に減肥
 ※葉色が低下しない場合は、穂肥を行わない

43.0 ③ 穂肥を行わない 42.0 41.0 ② 出穂30日前 N成分 1.0kg/10a以下 39.0 38.0-① 出穗30日前 N成分 1.5kg/10a 37.0-400 600 700 800 500 茎数(本/m²) 図2 つや姫の 7/7~10 の茎数・

葉色(SPAD)

図2 つや姫の 7/7~10 の茎数 葉色による診断と穂肥対応 (R7 の出穂期を想定)

3. 雪若丸

- 6月30日頃の生育量に基づき、穂肥の時期・量を調整する(下表参照)。
- 生育が適正範囲の場合は、出穂 25 日前に窒素成分 1.5kg/10a を施用する。

表 4 生育量別の穂肥の目安

生育量	茎	数	葉色	施用時期と窒素成分量	
	坪 70 株	坪 60 株	(SPAD)		
生育不足	26 本/株未満	31 本/株未満	40 未満	出穂 30 日前、1.5kg/10a	
適正	26~35 本/株	31~41 本/株	40~44	出穂 25 日前、1.5kg/10a	
生育過剰	35 本/株以上	41 本/株以上	44 以上	出穂 25 日前、1.0kg/10a	

- ※地力の低い圃場では窒素成分 2.0kg/10a を上限として、早目に追肥する。
- ※穂肥前に補完追肥を行った場合は、補完追肥した量を、穂肥の量から減肥する。
- ※基肥、補完追肥、穂肥の合計量は、窒素成分 8kg/10a 以内とする。

予告

スマートつや姫

『穂肥診断マップ』



6月30日更新予定!

- 『穂肥診断マップ』を活用して 効率的・効果的に診断!
- 『適期作業カレンダー』で出穂予測を 確認しよう!

詳しくは最寄りの JA または農業技術普及課へ



地点登録ボタンが追加!



熱中症と農作業事故に気をつけましょう 定期的に水分と休憩を取りましょう!!

